

第2回 瀬戸市小中一貫校開校準備委員会

次 第

平成29年8月28日（月）

午後3時から

瀬戸市役所4階大会議室

1 あいさつ

2 議事

(1) モデル地区における小中一貫校について

- 1) 基本設計 …資料番号1-1
- 2) 通学 …資料番号1-2
- 3) 校名選定（案）

(2) 小中一貫教育について

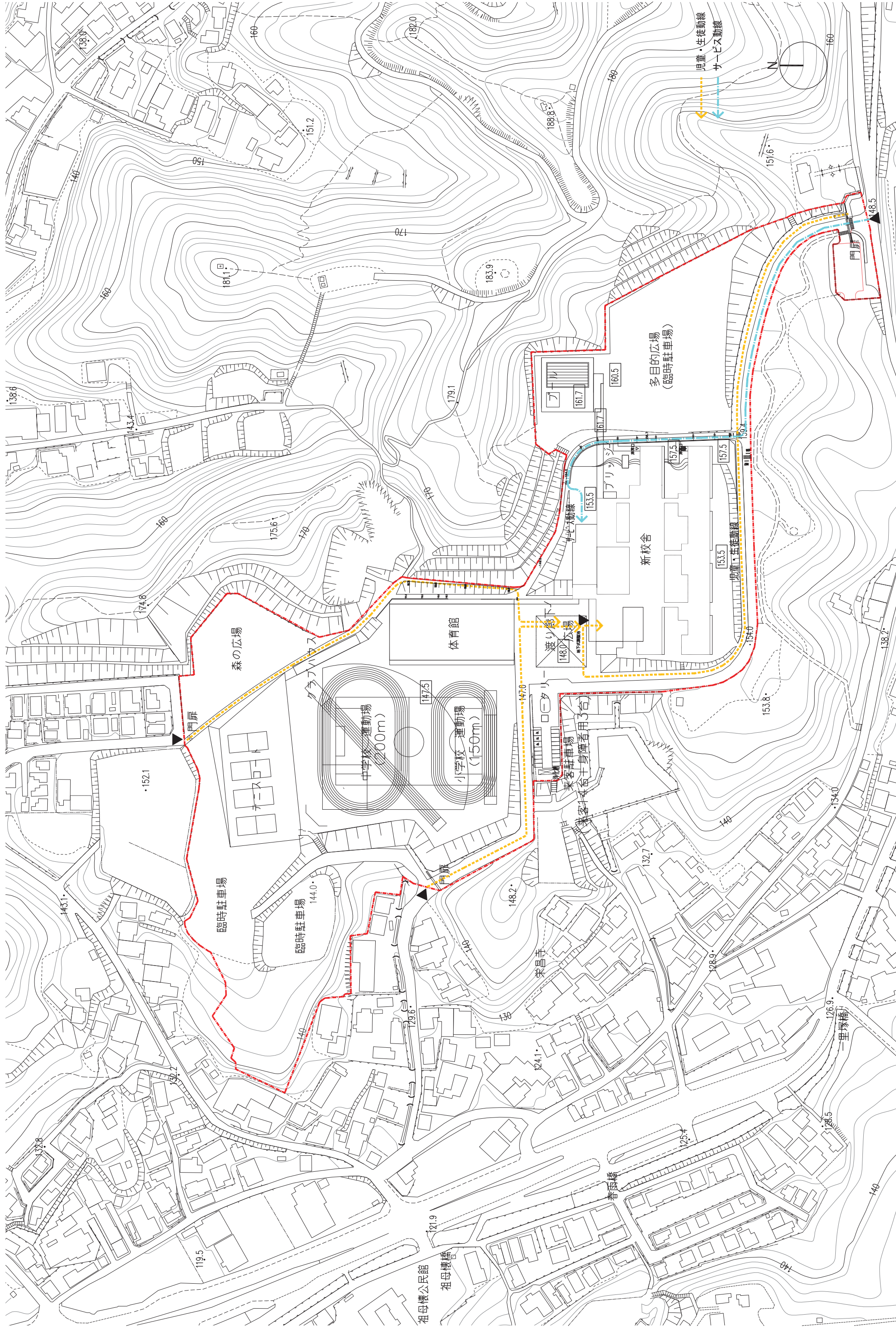
- 1) 小中一貫教育・小中一貫校カリキュラム編成（中間報告）…資料番号2-1
- 2) 目指す人間像（子どもの姿）及び評価指標 …資料番号2-2

(3) 子どもたちのための学校づくりについて

- 1) ワークショップ実施イメージ（案）…資料番号3-1
- 2) PTA や地域との良好な関係づくり …資料番号3-2
- 3) その他

3 その他





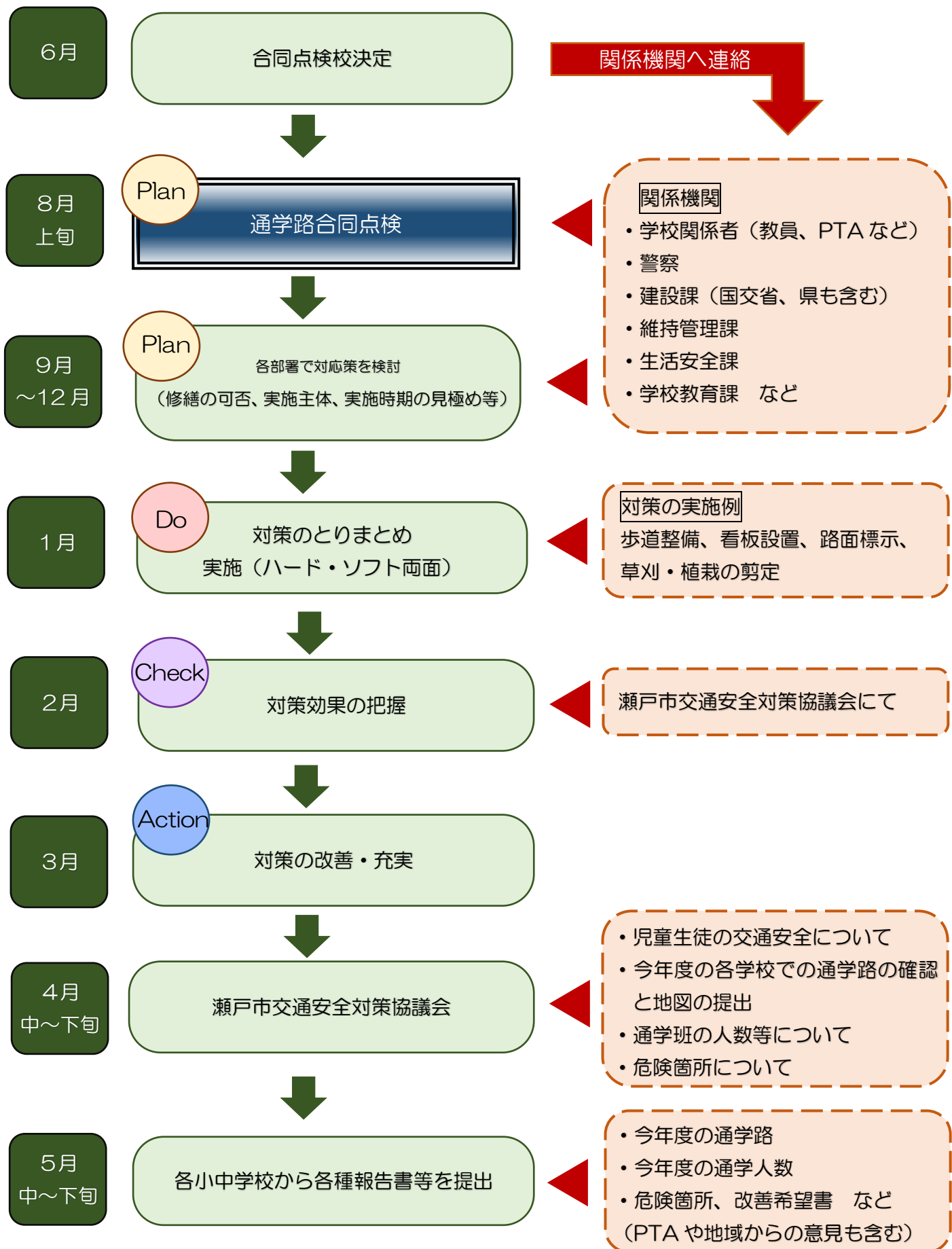
平成29年度 小中一貫校通学路点検結果表(概要)

| No | 学校名 | 日程 | 時間 | 参加者 |
|----|-------|---------|--------|--|
| 1 | 祖母懐地区 | 8月4日(金) | 9:30~ | 名古屋国道事務所1名、尾張建設事務所1名、瀬戸警察署1名、祖母懐小学校2名、祖母懐小PTA1名、地区協議会3名、学校教育課4名、維持管理課・建設課・生活安全課各1名 |
| 2 | 東明地区 | 8月4日(金) | 13:30~ | 尾張建設事務所1名、瀬戸警察署1名、東明小学校1名、東明小PTA3名、地区協議会2名、学校教育課3名、維持管理課・建設課・生活安全課各1名 |
| 3 | 古瀬戸地区 | 8月8日(火) | 13:30~ | 尾張建設事務所1名、瀬戸警察署1名、古瀬戸小学校3名、古瀬戸小PTA1名、学校教育課4名、維持管理課・建設課・生活安全課各1名 |
| 4 | 深川地区 | 8月9日(水) | 9:30~ | 尾張建設事務所1名、深川小学校3名、深川小PTA5名、地区協議会5名、学校教育課5名、維持管理課・建設課・生活安全課各1名 |
| 5 | 道泉地区 | 8月9日(水) | 13:30~ | 尾張建設事務所1名、道泉小学校2名、本山中学校1名、本山中PTA1名、地区協議会4名、学校教育課4名、維持管理課・建設課・生活安全課各1名 |

H29年度小中一貫校通学路に係る合同点検 危険箇所チェックシート 地区名 () 点検者 ()

| 列1 | 列2 | 点検の観点 | ◎、○、△、× | 特記事項や気づいたことなど |
|---|----|-----------------------------------|---------|---------------|
| 交通安全面(◎=十分、○=よい、△=改善を要する、×=不適切) | | | | |
| A | 1 | ガードレール、縁石、カラー舗装など歩車道の区別があるか | | |
| A | 2 | 区別がない場合、交通量が少ないか | | |
| A | 3 | 幅員が児童生徒の通行を確保できるか(目安1m~1.5m) | | |
| A | 4 | 遮断機はあるか | | |
| A | 5 | 見通しの悪い危険箇所がないか | | |
| A | 6 | 横断箇所に横断歩道、信号機が設置されている | | |
| A | 7 | 無い場合、警察官、見守りの方等の誘導がある | | |
| A | 8 | 横断歩道、標識等が消えかかっているか | | |
| A | 9 | 朝:8:00頃、夕方15:00頃~18:00頃の交通量は多くないか | | |
| A | 10 | 大型車が頻繁に通過しないか | | |
| 防犯面 | | | | |
| B | 1 | 街路灯があるか | | |
| B | 2 | 人通りが極端に少ないか | | |
| B | 3 | 緊急避難できる場所はあるか | | |
| B | 4 | やぶや路地、倉庫、空き地などで人が隠れやすい場所が多くないか | | |
| | | →あれば地図上にチェックしておく | | |
| 災害面 | | | | |
| C | 1 | 大地震の際、倒れてくる物がないか | | |
| C | 2 | 災害の際、一時避難する場所があるか | | |
| C | 3 | がけや水害で水があふれそうな河川が近くにないか | | |
| その他 | | | | |
| D | 1 | 子どもの目線(高さ約1m)から見て危険はないか | | |
| ※文科省「通学路の点検の実施及び危険箇所の把握・抽出にあたっての観点」を参考に作成 | | | | |

通学路交通安全プログラム フロー図



小中一貫教育・小中一貫校カリキュラム編成（中間報告）について

○ 「カリキュラム」のとりえ カリキュラム

教育課程

学習内容、授業時間数などが定められたもの

日課、部活、地域とのかかわり、PTA活動など
教育課程以外の教育活動に関わる事柄

○ カリキュラム編成者

カリキュラム編成委員
各教科等研究会
各校校長
各校教務主任 など

○ 教育課程編成のポイント

A【主体的・対話的で深い学び】

どの単元（題材）の、どの場面で、
どんなことについて、どんな方法
で実践を行うのかを明記すること
で、主体的・対話的で深い学びを
実現できるようにする。

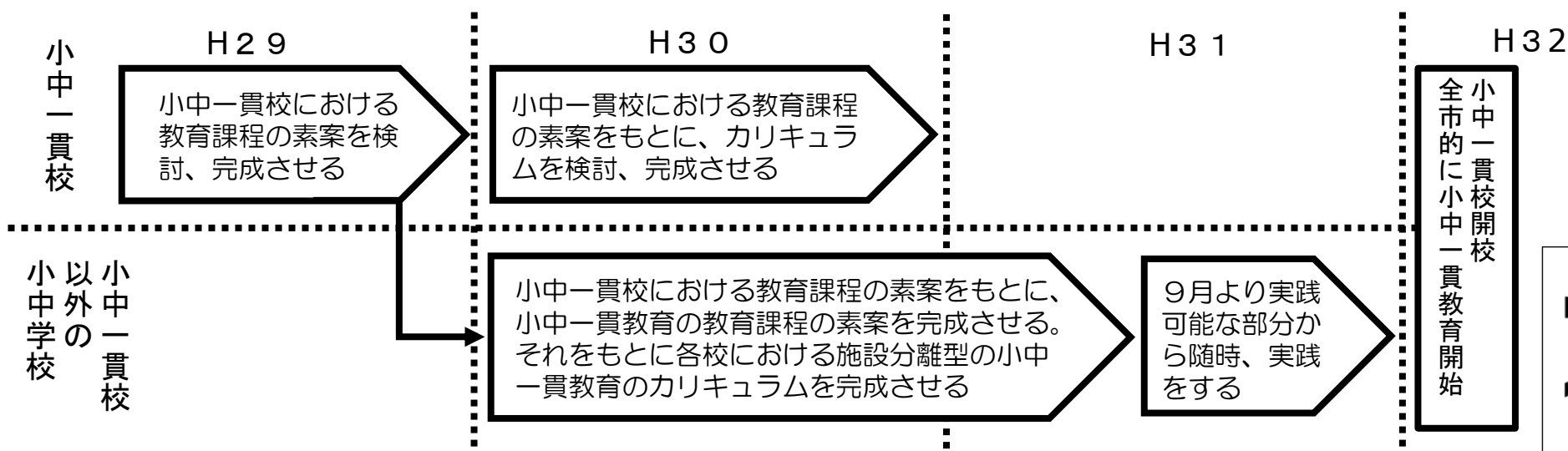
B【学習内容における 系統性・連続性・横断性】

該当する学習内容が、どの学年の、
どの教科の、どの単元が関わるのか
を明記することで、授業者が子ども
たちの既習事項や将来の学習のため
に身につけなければならない資質や
能力を把握できるようにする。

C【瀬戸らしさの創造】

- ・地域人材の活用
～地域や大学などの教育機関との連携～
- ・1年生からの英語教育
- ・9年間を見通したキャリア教育
- ・瀬戸の発展に貢献する人材を育てる地域
学習

○ カリキュラム編成のスケジュール



小単元名 1 米づくりのさかんな庄内平野 (12 時間)

- 目 標
- ・ 地図・統計などの資料を活用するなどして必要な情報を集め、国民生活や自然環境とのかわり、米の生産の工夫や努力・生産地と消費地とを結ぶ運輸などの働きを読み取ることを通して、我が国の米の生産が国民の食料を確保する重要な役割を果たして国民の食生活を支えていること、米の生産は自然環境と深いかわりをもって営まれていることや、米の生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働きを理解することができる
 - ・ 我が国の米の生産の様子について、学習問題を考え、米の生産が自然環境を生かしたり克服したりして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることについて考えたり、我が国の米の生産の発展について思考・判断したりしたことを、適切に表現することができる
 - ・ 我が国の米の生産の様子に関心を持ち、庄内平野を事例として意欲的に調べるとともに、国民生活を支える米の生産の発展を具体的に考えようとする

| 時 | 内 容 | 備 考 |
|---|--|--|
| 1 | <p>導入</p> <p>◎ 「食べものふるさとさがし」を行い、わたしたちの生活や食生活に関心をもつ</p> <p>○ ふだん食べているものがどこから運ばれてくるか、食料品のパンフレット・カタログ・チラシなどを集めて調べる</p> <p>○ 調べたことをもとに、気付いたことや疑問に思うことを話し合う</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/> 食料品のパンフレット・カタログ・チラシ</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地図帳</p> |
| 2 | <p>◎ 食料品の産地調べを行い、食料生産について話し合う</p> <p>○ 食料品の産地について調べ、整理する</p> <p>○ まとめた白地図から気付いたことを話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ よく食べる食料品（米、野菜、魚、肉）の産地について、その分布の共通点や相違点を見つけ、それらと自然環境や消費地との関わりについて話し合う <p>○ 食料生産について知りたいことを出し合う</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/> 食料品のパンフレット・カタログ・チラシ</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地図帳</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 中2「世界から見た日本の資源・エネルギーと産業」日本の農業の特色</p> |
| 1 | <p>米づくりのさかんな庄内平野</p> <p>◎ 各地の米づくりについて話し合う</p> <p>○ 写真資料を参考に、各地の米づくりの様子や地域による違いを調べる</p> <p>○ 調べたことをもとに、気付いたことや考えたことを出し合う</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/> 地図帳</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> プロジェクター</p> |
| 2 | <p>◎ 庄内平野について調べ、学習の見通しを立てる</p> <p>○ 写真や統計資料から庄内平野がどのようなところか読み取り、分かったことを発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庄内平野の写真資料、気温や降水量を表すグラフなど複数の資料を関連付けて、庄内平野の自然条件を読み取る <p>○ 庄内平野の米づくりについて調べたことを整理して、学習問題をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ庄内平野は米作りが盛んなのかを予想し、発表する。発表された予想をどのように分類できるか話し合うことで、調べたことを整理する | <p><input checked="" type="checkbox"/> プロジェクター</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 中2「日本の諸地域 6 東北地方」東北地方の自然、気候</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 5年理科「植物の発芽と成長」日光と植物の成長の関係</p> |
| 3 | <p>◎ 自然を生かした米づくりについて調べる</p> <p>○ 写真や地図、資料などをもとに庄内平野で米づくりが盛んなわけを調べる</p> <p>○ グラフなどから庄内平野の気候について調べる</p> <p>○ 調べたことをもとに、米づくりと自然条件、人々の工夫や努力との関わりについて話し合う</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/> 季節風の役割について触れる</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> プロジェクター</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 中2「日本の諸地域 6 東北地方」東北地方の農業</p> |

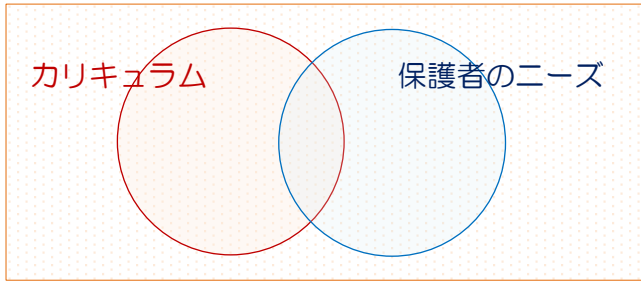
| | | |
|-----|--|---|
| 4・5 | <ul style="list-style-type: none"> ・ どのような自然条件をどのように生かしているのかについて話し合う ◎ 米づくりの工夫や努力について調べる ○ 岡部さんの米づくりの仕事について調べる ○ 農作業ごよみで1年間の米づくりの様子について調べる ○ 調べて分かったことをもとに、米づくりの工夫や努力について話し合う | <ul style="list-style-type: none"> 留 専業農家の補足説明をする 留 地域の米づくりについて調べ、農作業ごよみを作らせてもよい |
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 米づくりにおける人々の願いについて話し合う ○ 米づくりにかかわる行事や文化について調べる ○ 米づくりの1年を振り返りながら、人々の願いや命のつながりのなかで米づくりが営まれていることを話し合う <ul style="list-style-type: none"> ・ 行事や文化には人々の願いが込められていることを踏まえ、前時で調べた米作りの様子と行事や文化を比較する | <ul style="list-style-type: none"> つ 6年道徳「地域 田植えをしよう」 つ 3年「農家の仕事」農家の仕事の理解 つ 中2「日本の諸地域 6東北地方」東北地方の年中行事などの民族信仰とその由来 つ 3年「のこしたいもの、つたえたいもの」地域の文化財や年中行事の様子やそこに込められている願いの理解 |
| 7 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 米づくりを支える取組について調べる ○ 写真や資料などをもとに、様々な形で協力しながら米づくりに取り組んでいることを調べる ○ 調べたことをもとに、農家が協力し合うわけを考えて話し合う | <ul style="list-style-type: none"> 準 プロジェクター |
| 8 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 米づくりの工夫や努力を支えるしくみについて調べる ○ 農業協同組合や営農指導員の役割について調べる ○ 農業生産技術試験場の役割について調べる ○ 調べたことをもとに、米づくりの工夫や努力を支えるしくみについて分かったことを出し合う | <ul style="list-style-type: none"> 留 品種改良について補足説明をする |
| 9 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 米が消費者に届くまでの様子について調べる ○ 写真や資料を参考に、米が消費者に届くまでの様子や輸送方法について調べる ○ 生産地と消費地を結ぶ運輸の働きについて話し合う <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ、わたしたちが遠く離れた県が産地であるお米を手軽に食べることができるのかについて話し合う ○ 生産や運輸に関わる費用と米の価格について話し合う | <ul style="list-style-type: none"> 留 事前に米づくりに関わる費用を調べておくとよい 準 プロジェクター |
| 10 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ これからの日本の米づくりについて考える ○ グラフから日本の米づくりが抱える課題について話し合う <ul style="list-style-type: none"> ・ 農家数や農業で働く人の変化、農家の収入などのグラフや統計資料を使い、日本の米作りが抱える課題の傾向をつかむ ○ 米づくりを元気にするための提案をまとめる ○ 実際に行われている取組と比べて、自分たちの提案について意見を出し合う | <ul style="list-style-type: none"> 留 生産調整については補足説明をする 準 グループごとに考えを書き込む透明シート、書画カメラ |

目指す人間像（子どもの姿）及び 評価指標の考え方（案）

資料番号

2-2

■第2次瀬戸市教育アクションプラン



文部科学省から
小中一貫教育の評価軸を求められている

二つの方向性を融合した
評価イメージが必要

【本市が目指す人間像】

「自ら考え、学び、生き抜く力」を具備した人材

■瀬戸市の小中一貫教育において、児童生徒が修得する三つの要素

国際性
Internationalism

知性
Intelligence

人間性
Humanity

「学校が何を教えるか」から、「子どもたちがどのような力を身につけるか」へ

【評価指標の方向性】

- 小中一貫教育を開始し、10年後の評価指標を分かりやすく設定します。
- 学校・家庭・地域で、目指す人間像（子どもの姿）や評価指標を共有します。
- 点検・評価と改善（PDCAの実践）を繰り返し、カリキュラム・マネジメントを実現します。

【10年後の評価指標の事例案】 目標年度：平成41年度

●中学3年生で、英語検定3級（程度）以上を取得します。

市内中学3年生（参考：H29 約1,100人）英語検定3級（程度）以上の取得率向上を目指す。

●小学4年生で、漢字検定7級（程度）以上を取得します。

市内小学4年生（参考：H29 約1,200人）の漢字検定7級（程度）以上の取得率向上を目指す。

●小学6年生で、算数検定6級（程度）以上を取得します。

市内小学6年生（参考：H29 約1,200人）の算数検定6級（程度）以上の取得率向上を目指す。

●9年間、日常的に徒歩などの身体活動や運動を実践します。

低学年段階から、グラウンドなど安全な敷地を活用した徒歩などの身体活動を推奨し、「1日1万歩」を目指す。

●9年間、瀬戸市版 スーパーキャリア教育を実践します。

9年間、系統的に多様な職業観や人生観に触れ、自己の学習プログラムやライフワークにフィードバックするとともに、世界情勢や環境問題をはじめ、社会課題解決などに対して関心を持ち続ける姿勢を修得する。

※具体的な数値などについては、今後、調整となります。

小中一貫校に係るワークショップ実施イメージ（案）について

□目的：

モデル地区における小中一貫校に係るPTA組織のあり方などについて、現時点のPTA（保護者及び教員）を対象としたWSを実施し、様々な観点から意見交換を行うことにより、小中一貫校開校後のPTAと学校との関わり方をはじめ、PTAの位置づけや役割などを改めて認識及び確認することを目的とする。また、こうしたWSの機会を通じて、“地域とともに歩む学校づくり”を目指すもの。そして、年末頃から開催予定の「小中一貫校PTA検討委員会（仮称）」の組成に向け、スムーズに繋がっていくような機会の一つとする。

□対象者：

各校（7校）PTAから4名ずつを想定

※保護者2名（男・女）、若手教員2名 合計28名

□開催時期・時間など：

- 平成29年10月頃から平成30年3月頃まで 合計3～4回
- 平日 午後6時～8時 or 土日 午前9時～11時
- 市役所4階大会議室 or 瀬戸市文化センター

□テーマ例など：

- 地域と学校との関わり方などについて

□今後の予定：

本（平成29）年度は、PTAを対象としたWS実施から、「小中一貫校PTA検討委員会（仮称）」の組成へとスムーズに繋げる。なお、来年度以降は、各地区協議会での対話を積み重ねるとともに、地域の方々を対象としたWSを実施することにより、モデル地区における学校と地域との関わり方などを共有し、ステークホルダーとの関係構築を目指す。

PTA や地域との良好な関係づくり

モデル地区における小中一貫校の整備などに係る、PTA や地域との良好な関係づくり（パブリック・リレーションズ）のおおよその展開イメージです（平成 29 年度）。

【各地区協議会】 平成 29 年 8 月 30 日（水）から 9 月 21 日（木）まで

5 地区協議会において、主に次の内容についての報告や協議を行います。

- ・ 学校施設
- ・ 通学路合同点検結果
- ・ 小中一貫教育カリキュラム
- ・ 跡地活用 など

【広報せと 10 月 1 日号】 10 月 1 日

広報せとで、主に次の内容について報告し、市民と情報共有します。

- ・ 学校施設イメージパース
- ・ 小中一貫教育カリキュラム
- ・ 校名応募
- ・ 通学路の考え方
- ・ 個別相談会の実施 など

【個別相談会】 10 月中旬から 11 月上旬まで

保護者などを対象とした個別相談会を 3 回程度実施し、心配ごとの解消に努めます。併せて、未就学児保護者を対象とした個別相談会（就学時健診の際）も実施する予定です。

【ワークショップ】 10 月頃から平成 30 年 3 月頃まで

小中一貫校のコンセプトにある“地域とともにある学校”を実現するため、PTA を対象としたワークショップを実施します。

【第 3 回瀬戸市小中一貫校開校準備委員会】 3 月頃

委員会において、主に次の内容についての報告や協議を行います。

- ・ 学校施設
- ・ 小中一貫教育カリキュラム
- ・ 通学路
- ・ 学校運営 など